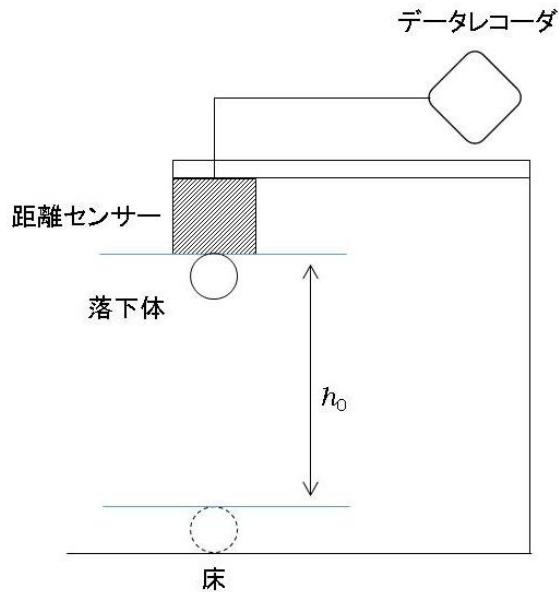


実験のレシピ（エネルギー保存の法則）

目的 落下体の運動をデータ収録する。

1. 落下体の質量を測定する。落下体を距離センサーの真下の床上に置き、落下体からセンサーまでの高さと、落下体の直径を測定する。



2. 測定画面の開始ボタンを押す。このとき、前の測定データが表示されていると保存するかを問われる。「いいえ」を選択すると、測定が開始される。
3. 測定が始まったら（グラフが描かれ始まつたら）落下体を距離センサーの前に静止させ、落下体を離す。このとき、落下体に速度や回転を与えないように、静かに離す。
4. 参考動画の手順に従って、位置と速度の関係をノートに記録する。また、実験をやり直したい場合があっても、まずはノートに記録して、3から実験を行う。
5. 時間があれば、落下体を変えて実験を行う。
6. 測定が終わったら、ノートにエネルギーを計算し、その結果のグラフを作成する。